

農たび・北海道ネットワーク研修会

各地域の課題を共有し、情報交換による地域の連携強化を図るとともに、地域資源を生かした企画、運営、情報発信等の手法を学ぶことにより、農泊及び農村ツーリズム（愛称「農たび・北海道」）の取組を推進することを目的として、「農たび・北海道ネットワーク研修会」を開催します。

日時 2021年12月8日(水) 13:30開演(13:15開場) ※終了予定時刻17:00

方法 会場 又は オンライン(ZOOM)

会場 TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前 5階ホール 5A
(札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館)

対象 農泊等の農村ツーリズムに取り組んでいる、もしくは関心のある組織または個人、市町村、観光協会、商工会、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、(総合)振興局担当職員 等

定員 会場50名程度 + オンライン参加

申込期限 2021年11月26日(金)



プログラム

1 基調講演

「コロナ禍で変わったこと、変わらなかったこと。観光について、もう一度考える」

講師 北海商科大学商学部商学科・観光産業学科 非常勤講師 加藤 由紀子 氏
(令和3年度農山漁村振興交付金評価委員会委員)

※パネルディスカッション コーディネーター兼任

2 パネルディスカッション (道内農泊地区の事例紹介)

パネリスト 一般財団法人丘のまちびえい活性化協会 事務局次長 泉 剛生 氏
一般社団法人En(鹿追町農泊推進協議会) 代表理事 正保 縁 氏
NPO法人 美しい村・鶴居村観光協会 事務局長 服部 政人 氏

3 活動事例

「農たび・北海道」をテーマとしたPR企画について

協力 札幌大谷大学

主催者連絡先 ≫ 北海道農政部農村振興局農村設計課農村活性化係
TEL:011-231-4111(内27-873)

※ 来場の際は、マスク着用及び体調管理等に留意してください。

講師のご紹介

基調講演 / パネルディスカッション・コーディネーター

加藤 由紀子 氏 (講師、コーディネーター)

北海商科大学商学部商学科・観光産業学科非常勤講師

令和3年度農山漁村振興交付金評価委員会委員



札幌市出身。北海商科大学商学部観光産業学科元教授。

日本航空で航空ビジネスに携わり、その後、旅行や観光産業を担う次世代の教育に関わりながら、北海商科大学で教鞭をとる。その傍ら、国際交流を担当し、多くの海外からの留学生に日本の生活文化を紹介してきた。情報社会であっても、多文化との直接的な交流は、若い留学生たちにとってかけがえのないことであり、そこから訪日外国人観光客にどのように展開していくかも、研究のテーマとなっている。

また、札幌や東京の都会で育ち、田んぼのあぜ道を初めて歩いたのが高校生の時。今まで本などの世界の中で、実体が伴わなかったものが、自分の身に引き寄せることができた時の感激が忘れられない。それが、都市と田園との交流について研究をしてきた原点とのこと。

パネルディスカッション・パネリスト

一般社団法人丘のまちびえい活性化協会

事務局次長 泉 剛生 氏

通過型観光から滞在観光への進化及び地域や農家所得の向上につながる取組を進めている美瑛町で、地域の魅力を向上させるための体験プログラム作りや旅行商品造成の責任者として、年間を通じた来訪客の増大を目指すなど農泊に取り組んでいる。

一般社団法人En (鹿追町農泊推進協議会)

代表理事 正保 縁 氏

農泊の事業化によるインバウンドツアーの受入れ等を行っている鹿追町で、体験・交流部門を担う一般社団法人Enの代表及び体験交流拠点であるトマルカフェ鹿追のオーナーとして、農泊の取組を推進している。

NPO法人美しい村・鶴居村観光協会

事務局長 服部 政人 氏

既存の地域資源である酪農や美しい自然等を活用し、地域経済や地域活性化に資する農泊を展開している鶴居村で、農泊推進の中心的役割を担い、様々な観光コンテンツを造成しながら、農泊宣言など地域と連携した受入に取り組んでいる。